

平成 21 年 9 月 30 日  
東日本高速道路株式会社

## ETC 速度抑制強化対策の実施状況について

平成 21 年 3 月 16 日より 4 月 20 日まで東日本管内で順次展開してきました、 ETC 速度抑制強化対策の状況についてお知らせいたします。

ETC レーンの通過時速 40 km 以上の割合が約 60 % 削減  
開閉バーへの接触発生率が約 20 % 削減

開閉バーが開くまでの時間（タイミング）を 0.5 ~ 1.0 秒遅らせます。

### （1）速度変化状況

速度の変化状況は、本対策実施前と比較しますと、 ETC レーン通過時速 40 km 以上の割合が低減し、対策効果が見られます。

ETC レーンの通過時速 40 km 以上の割合が、約 60 % 削減されました。

### （2）開閉バーへの接触状況

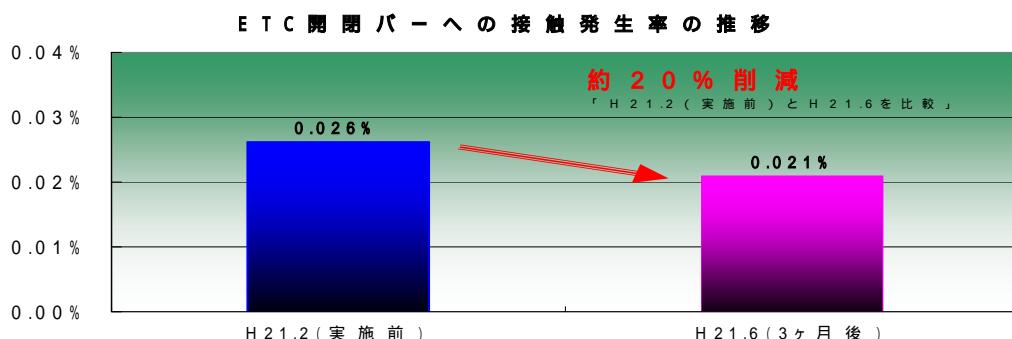
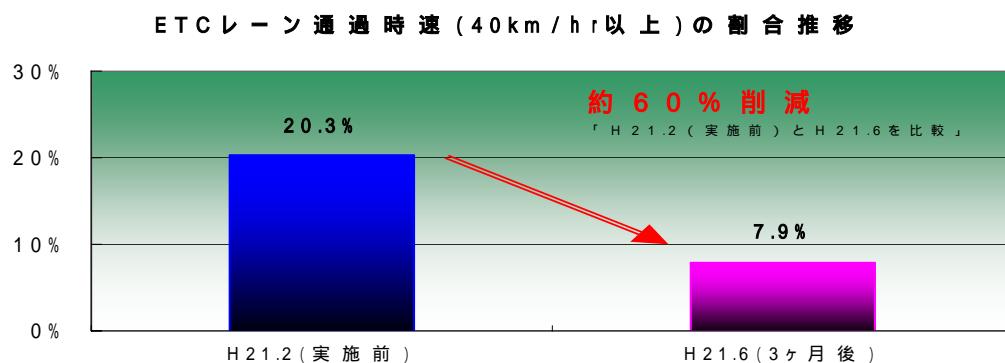
開閉バーへの接触状況は、本対策実施前と比較しますと、接触発生率が低減し、対策効果が見られます。

開閉バーへの接触発生率は約 20 % 削減されました。

### （3）渋滞発生状況

今対策に起因する料金所渋滞は、平成 21 年 9 月 29 日現在発生しておりません。

### （4）対策効果の推移



実施前：平成 21 年 2 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日  
3 ヶ月後：平成 21 年 6 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日